

【 検 査 】

4 5 3 非特異的 I g E の算定がない場合の特異的 I g E 半定量・定量（気管支喘息疑い）の算定について

《令和 7 年 2 月 2 8 日》

○ 取扱い

気管支喘息疑いに対して、D015「11」非特異的 I g E（定量又は半定量）の算定がない場合の D015「13」特異的 I g E 半定量・定量の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

気管支喘息では非特異的 I g E が正常であっても、特異的 I g E が陽性になることがあるため、問診等でアレルゲンが想定できる場合、非特異的 I g E を実施せず特異的 I g E 半定量・定量を実施することは有用である。

以上のことから、気管支喘息疑いに対して、D015「11」非特異的 I g E（定量又は半定量）の算定がない場合の D015「13」特異的 I g E 半定量・定量の算定は、原則として認められると判断した。